

会 議 録

| | |
|--------|--|
| 会議の名称 | 第7回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会 |
| 開催日時 | 令和7年2月17日(月) (午前・午後) 2時 開会 (午前・午後) 4時 開会 |
| 開催場所 | 茨木市役所 南館8階中会議室 |
| 議長 | 河合 将生 氏 (office musubime 代表、NPO 組織基盤強化コンサルタント) |
| 出席者 | 【評価委員】 河合 将生氏(NPO 関係者)、入江 陽子氏(NPO 関係者)、高田 和子氏(地域活動関係者) (3人) 【事務局】 向田共創推進課長、吉田共創推進課市民活動グループ長、松井共創推進課職員 (3人) 【関連課・担当課】 資源循環課、こども政策課、障害福祉課、危機管理課、長寿介護課、子育て支援課、文化振興課 (7課) |
| 開催形態 | 原則公開 |
| 議題(案件) | (1) 概要説明及び会議の公開・非公開の決定 (2) 各団体による事業報告及び質疑応答 |
| 配布資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・第7回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・令和6年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧 ・事業報告関係書類(個人情報を含むため省略) |

議 事 の 経 過

| 発言者 | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|------|---|
| 事務局 | 開会及びあいさつ、本日の会議の概要説明 公開・非公開の決定について（原則公開） |
| | ----- 事業報告開始 ----- |
| 団体 | 【自由テーマ型事業】 ごみごみわいわい project kizuki color |
| 関連課 | 【関連課 意見】 |
| | 【質疑応答】 |
| 河合委員 | ・ 収支決算書の見込みと結果にギャップがあるが、理由はあるか。 →きたしんホールで実施し、著名人に来てもらう予定だったが、おにクルの予約が取れず、イベント自体を縮小することとなったため。 また、公共施設等にチラシを設置させてもらったが、集客につながらず、参加費が集まらなかった。 |
| 河合委員 | ・ 団体目にあるような「気づき」は当事業の中でであったか。 →イベントを重ねるごとにリピーターが多くなっている。 参加者同士のつながりができていて、情報交換の場になっており、そこで循環が生まれているように感じる。 |
| 入江委員 | ・ このような大きなイベントは何度目か。また、普段の活動メンバー以外でかかわってくれた人はいるか。 →大きなイベントは初めての実施。イベントへかかわってくれる人がどんどん増えている状況。 |
| 団体 | 【自由テーマ型事業】 いばらき芝生フェスタ 2024 シゲイズム・ヒゲノミクス・AquaNote 共同体 |
| 関連課 | 【関連課 意見】 |
| | 【質疑応答】 |
| 入江委員 | ・ 出展者等との振り返りは行ったか。また、その中で印象的な感想などはあったか。 →スタッフや出展者から感想をもらった。印象的なものについては、音の大きさについてクレームが2件ほどあったことや、今後自走していきたいという方がいたことが印象的だった。 |
| 入江委員 | ・ 事業内で「共創」はできたか。 |

| | |
|------|--|
| 入江委員 | <p>→出展者とは共創できたにとらえているが、市の関連課とは共創できなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展者とコラボする中で大変だったことはあるか。 <p>→お互いを尊重することが重要であると考えている。また、配慮はするが、遠慮せずに伝えることも大切だと感じた。</p> |
| 団体 | <p>【連携型事業】</p> <p>年齢や障がいの有無に関わらず、垣根なくどなたでも鑑賞いただける バリアフリーコンサート企画</p> <p>Ohana</p> |
| 関連課 | <p>【関連課 意見】</p> |
| 入江委員 | <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演料を見込めていなかったということだが、しっかり関係を作って本番を迎えられたという点は素晴らしい。 |
| 河合委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーの費用などは出してもいいかもしれない。次の予算だてに活かしていただければ。また、関連課との連携をどんどん深めていくことは、素晴らしい。ネクストアクションにつなげていただければ。 |
| 団体 | <p>【連携型事業】</p> <p>歴史から見える新時代の防災・減災～激甚化する自然災害に備えて～</p> <p>特定非営利活動法人 和の心</p> |
| 関連課 | <p>【関連課 意見】</p> |
| 河合委員 | <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加者数は何人程度か。 <p>→きたしんホールは30～40名程度の参加。</p> |
| 河合委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・当初企画時に想定していた目標とやってみての結果（気づき）はどうだったか。 <p>→歴史というワードを入れてみんなの興味を引きかけた。予想通り食いつきがよく、思い描いていた通りではあった。また、シェアリンクいばらきと連携できたところはすごくよかった。今後の活動にも大きなプラスになったと思う。</p> |
| 団体 | <p>【自由テーマ型事業】</p> <p>いばらき孫・子・老ふれ愛フェスタ</p> <p>茨木市高齢者サービス事業所連絡会</p> |
| 関連課 | <p>【関連課 意見】</p> |
| | <p>【質疑応答】</p> |

| | |
|-------|--|
| 河合委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期が変更になった理由は。 <p>→イオン側担当者の異動で引継ぎがされておらず、営業関係のイベントが入ってしまっていた。</p> |
| 河合委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎年実施するものとして開催時期が大事かと思うが来年の予定は。 <p>→イベント初日に市長が来られて「介護の日」に実施することが大事というようにイオンの上席の方に伝えていただいたこともあり、すでに来年の日程を確保することができている。</p> |
| 河合委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・イオンにとっても社会貢献活動につながるので、年間予定に入れてもらえるといい。まさに今、そうなってきたところかと思う。 |
| 団体 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学生や高校生にアプローチをかける方法について助言をいただきたい。 |
| 河合委員 | <p>→就労体験は定番だが、福祉の仕事は触れる機会が少ないので若い人材の確保は難しい。対人援助の魅力、ヤングケアラー等当事者もいる。職場体験だけでなく魅力を発信できる機会があると良い。出前授業や、その他連携など。</p> |
| 団体 | <p>【自由テーマ型事業】</p> <p>国籍を越えて子どもと親が楽しみながら、多様性を身近に感じ国際的な視野を持つことで次世代を担う全ての子どもと親を支援して豊かな時間を共に過ごす事業</p> <p>English Fun Kirakira</p> |
| 関連課 | <p>【関連課 意見】</p> |
| 河合委員長 | <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントは具体的に何をしたのか。 <p>→障害物レースや国旗を使った遊びなど。ボールあてやクラフトもしました。イースターについて知る企画もした。</p> |
| 河合委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ・目的達成のためにどんな内容をすればいいのが考えているところと、ただおもしろいと思えるものもやるのはとてもよい。ほかにやってよかったこと・課題はあるか。 <p>→スポーツを通して子どもたちの協力がみえてよかった。今後の課題は広い場所の確保が難しいこと。</p> |
| きゃぱす | <ul style="list-style-type: none"> ・市民体育館や青少年センターの施設予約も予約システムから確認・予約できるので見てみてください。 |
| 団体 | <p>【自由テーマ型事業】</p> <p>型破りなアートプロジェクト</p> <p>型破りなアートプロジェクトユニット</p> |
| 入江委員 | <p>【関連課 意見】</p> <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の振り返りは出展者等と行ったか。 |

| | |
|-------|---|
| 河合委員 | <p>→最終日に簡単な振り返りを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象的な意見はあったか。 <p>→口をそろえていったのは、授賞式でのみんなの表情がよかったということ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの方とのかかわりを持って進めてこられたかと思うが、大変だったことはあるか。 <p>→アートにしっかり重心を置きたいと思い、アーティストの方にも関わっていただいた。しかしアーティストと障がい者を融合させるのは本当に大変だった。アーティストからの評価は障がい者本人は読むことができない。そういった壁が大変だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この企画を他の場でもやる予定はあるか。 <p>→予定はない。毎年か、2年おきに実施できればと考えているが、展覧会するにしても、集金する方法がなかなか難しく予定を立てづらい。</p> |
| 河合委員長 | 他に意見はないか。以上で報告を終了する。 |
| 事務局 | 事務局から連絡事項はないか。 |
| 河合委員長 | <p>次回の開催は2月18日、場所は茨木市役所 本館6階第1会議室となります。</p> <p>以上で、第7回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。</p> |